

車線分離標取替工 作業手順

	内 容	留 意 事 項
準備工	作業打ち合わせ(KY活動) 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認 チェックリストの作成
既設車線分離標撤去	破損した既設車線分離標の撤去 破損した車線分離標は、専用の金具を使用して、ゆっくり回し引き抜く。 車線分離標が抜けない場合は車線分離標の根元をブレーカーで 研り取り外す。	研り作業を行う時は、飛散防止ネットを使用し、周りに 飛散させないようにする。
車線分離標取付	車線分離標を交換する時は(研り取らない場合)、専用の金具を使用して ゆっくり回し固定する。 車線分離標を交換する時は(研り取る場合)、専用の接着剤を使用して 固定する。	作業責任者は、しっかり固定されているか、確認する。 天候、気温、時間制約等を考え接着剤の種類を変える。 接着剤が主剤、硬化剤(二液)の場合、容器を用意して均等に (1対1)出し攪拌して削孔穴に注入する。
発生材の片付け	整理整頓し、発生材をトラックに積み込む。 使用した道具等忘れ物がない事を確認する。	落下防止ネットを設置し、荷台からの積荷の落下をさせない。
後片付け	使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。 終礼の実施	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。 安全ミーティング日報による

注意事項

工事規制内(通行止め)から退出する際は、施工場所を点検し不備が無い確認し退出する。
接着剤を混合する際は適切な分量で、十分に攪拌する。
移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。
車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。